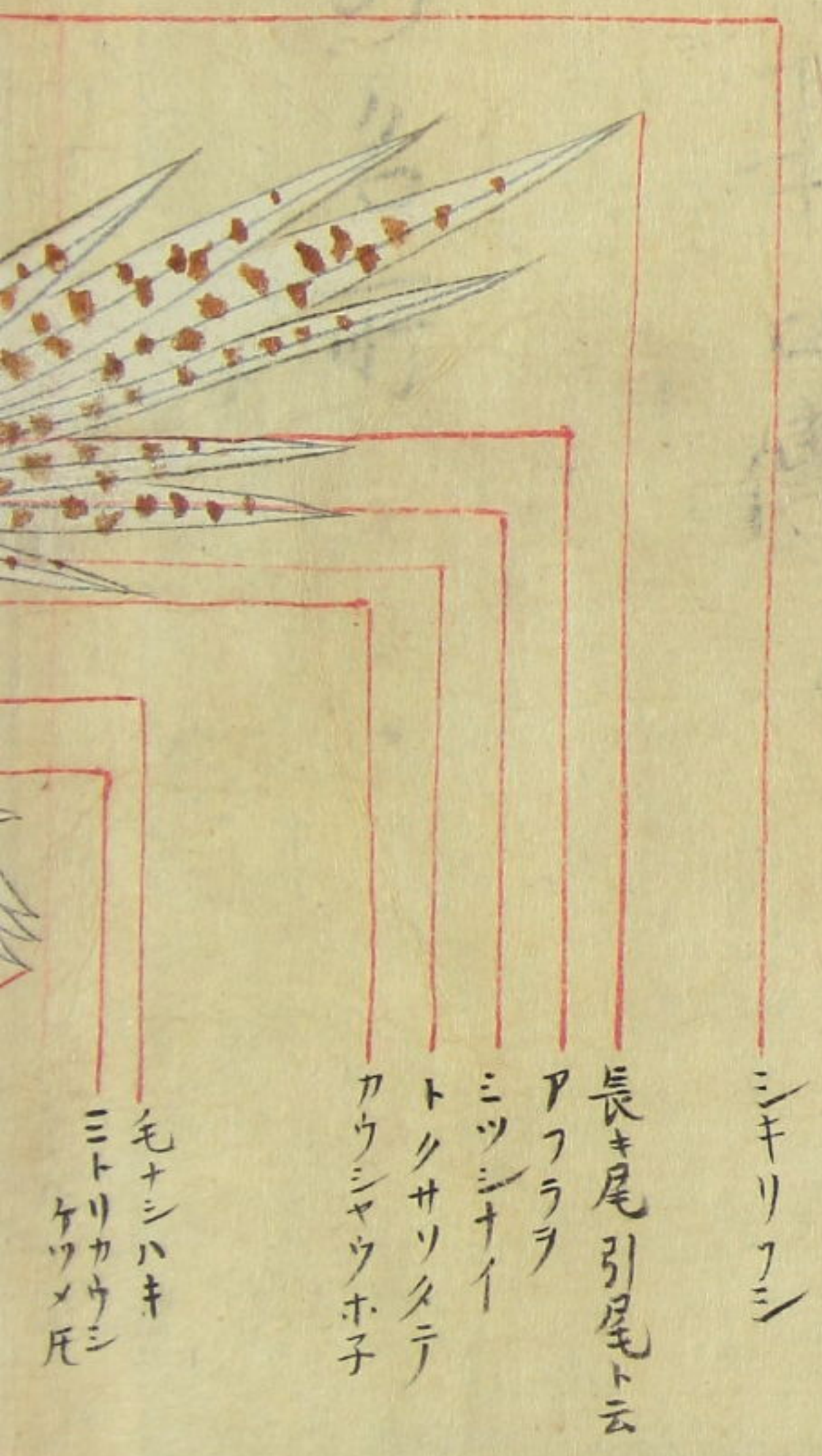


山川陰陽之卷

一夫雉子ハ山鳥の棟領たり首ニ紅冠ベニカウの
玄位を頂キ身ニ五色の文彩を備エ尾ハ
恰も裾をよみ折れぬ同ノ距有リ故ニ能ク
闘進ニ天地震動ニ應ニて聲身を發
一雌雄の契リ深ク多ク子を産ミ
故ニ帝車ニ鳳凰を飾リ后車ニ野鷄
を飾くらし或ハ布帛ニ書テ
后服とありテ夏名禽天理たり
禮ニ相叶フ依リテ婚姻の床飾其
外ニも置鳥ト号ト是を祝フニ
和朝におひて惣名を鳥ト形法も
唐土ニ山梁金鳥ト云も同之口傳

一別是ト云事口傳

鳥の名所



シキリフシ

長キ尾引尾ト云

アフアラフ

ニツシナイ

トクサソタテ

カウシヤウホ子

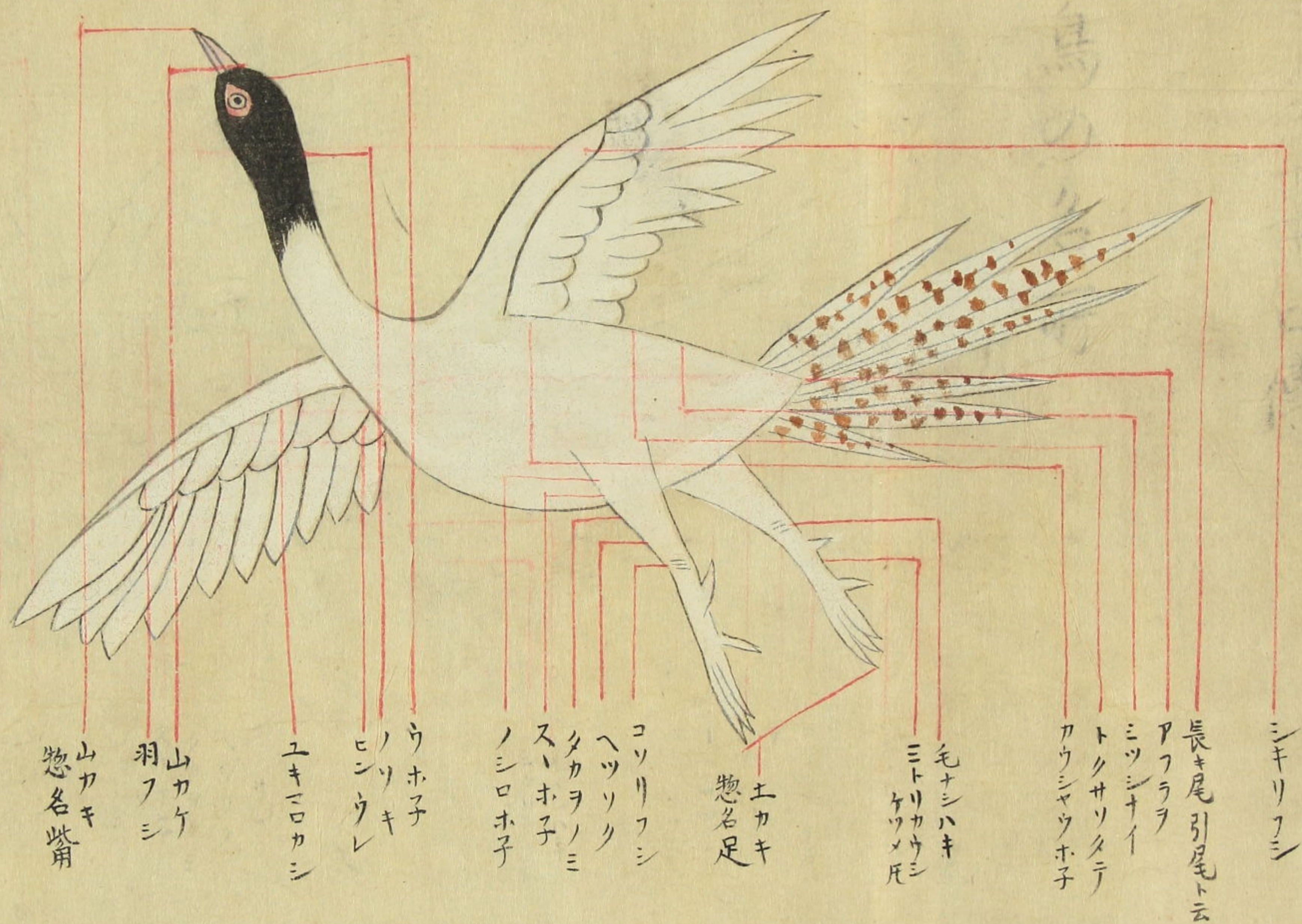
毛ナシハキ

ミトリカウシ



一別号ト云事口傳

鳥の名所



シキリフシ

長キ尾引尾ト云

アフララ

ミツシナイ

トクサソタテ

カウシヤウホ子

毛ナシハキ

ミトリカウシ

ケツメ尻

エカキ
惣名足

コソリフシ

ヘツソク

タカヲノミ

ス、ホ子

ノシロホ子

ウホ子

ノソキ

ヒンウレ

ユキニロカシ

山カケ

羽フシ

山カキ
惣名嘴



山カケ
羽フシ

山カキ
惣名紫

一 鯉を金魚と云ふ其たけ小魚とイハト
 モ心大望ニシテ瀧門ニ心指有テ數年
 を經ル時龍と昇進す和朝ニおひて
 も男女の媒をあらも故文章單と云
 古事ト傳たり故婚姻其外も
 置鯉ト号し床飾祝物之魚の大小
 限ラス首ヨリ尾まで鱗三十六たのふ
 故六鱗となはしく口傳
 一 刀の柄を鯉口と云ふ唐土ニて水中ヨリ
 鯉刀をのこかけて指出す是を取上
 学ひしよ依て鯉口と云ふに
 傳ししものり

此言葉を請刀の鞘をもやまのへる

- 一 出頭と云ふ鯉ヨリ初る之口傳
- 一 二尺五寸上を大鯉と云
- 一 一尺八寸ヨリ二尺四寸まで中鯉と云

一出頭と云ふ鯉ヨリ初るゝ口傳

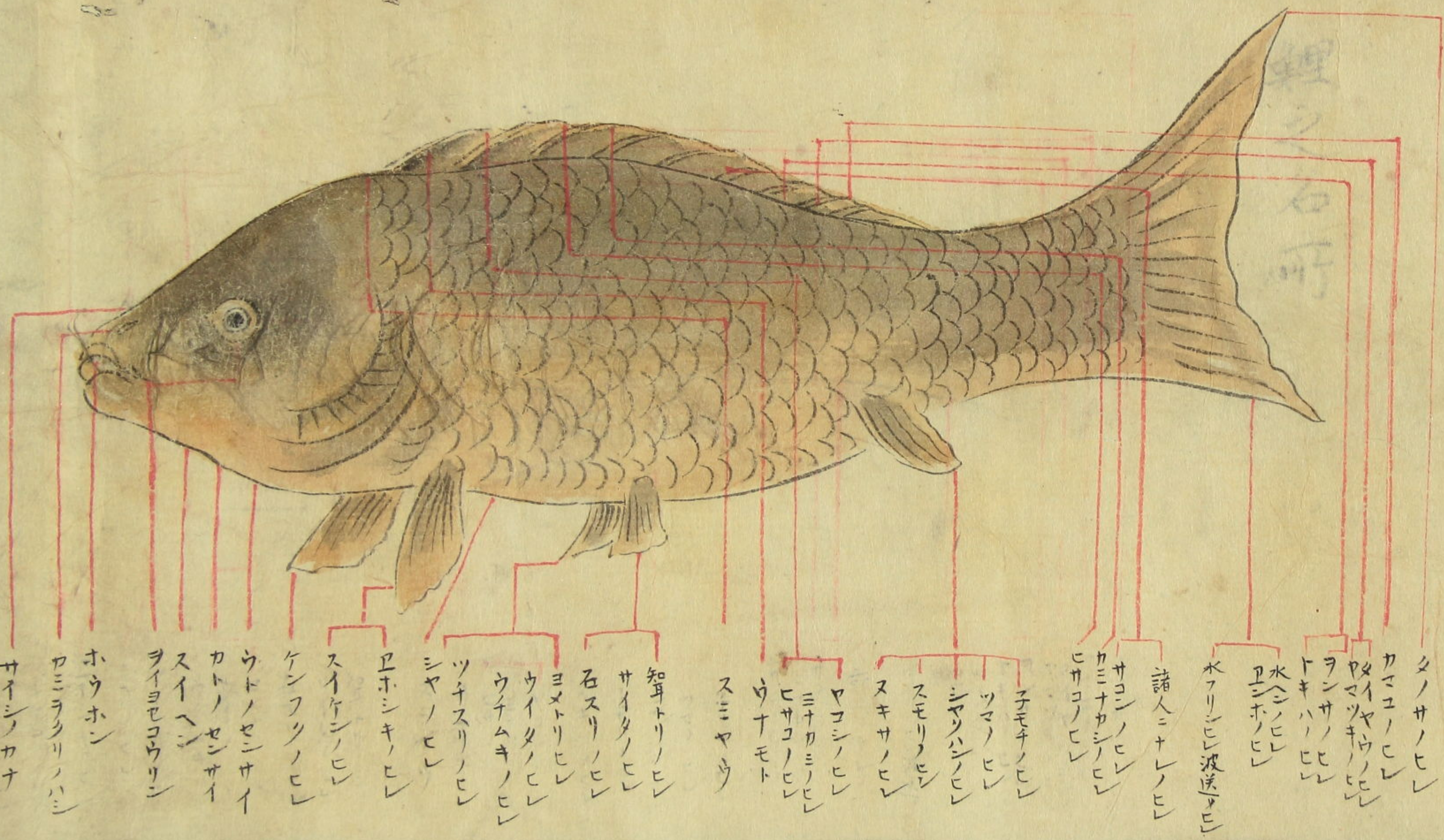
一二尺五寸上を大鯉と云

一一尺八寸ヨリ二尺四寸まで中鯉と云

一一尺七寸ヨリ以下ヲ小鯉とす何れ

目ヨリ尾キハチての寸こんこ

鯉之名所



一龍の鱗ハ首ヨリ尾まで八十一ありあり
イハリ則陽の形と見えたり

一龍右此一巻者雖為秘支執心

深懇記進之畢妄不可有

他見者也

水島ト也
之成

伊藤甚右衛門
幸氏

同自隼
大亮

同将昔
幸督

同隼太
幸辰

松岡清助
辰方

本間與一

元七棟
初冬中澣



ウトノセニサイ
カトノセニサイ
スイヘン
ライヨセコウリン

ホウホン

カミラクリノハシ

サイシノカナ

右三卷者

水島卜也
之成

他見也

伊藤甚右衛門
幸氏

同自隼
大亮

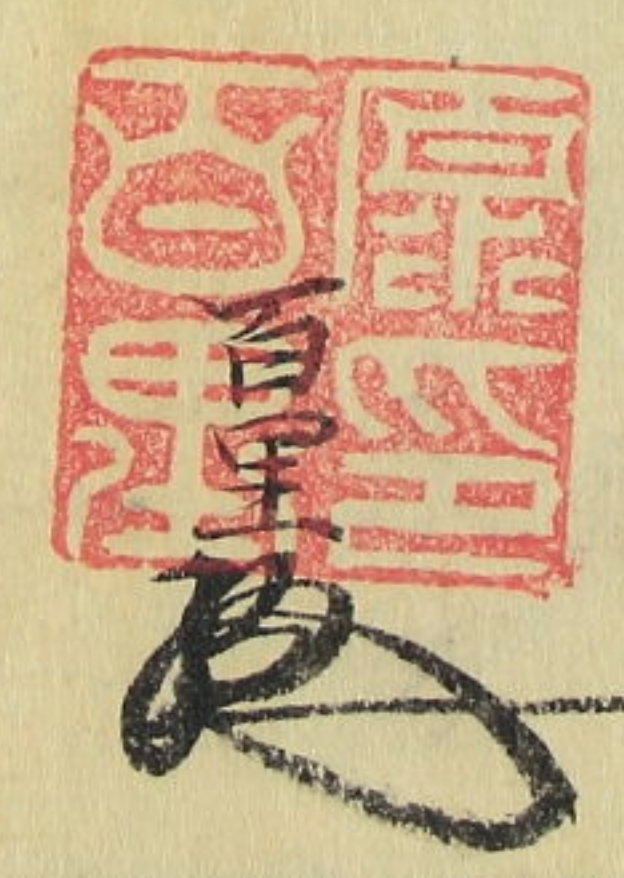
同
将昔
幸督

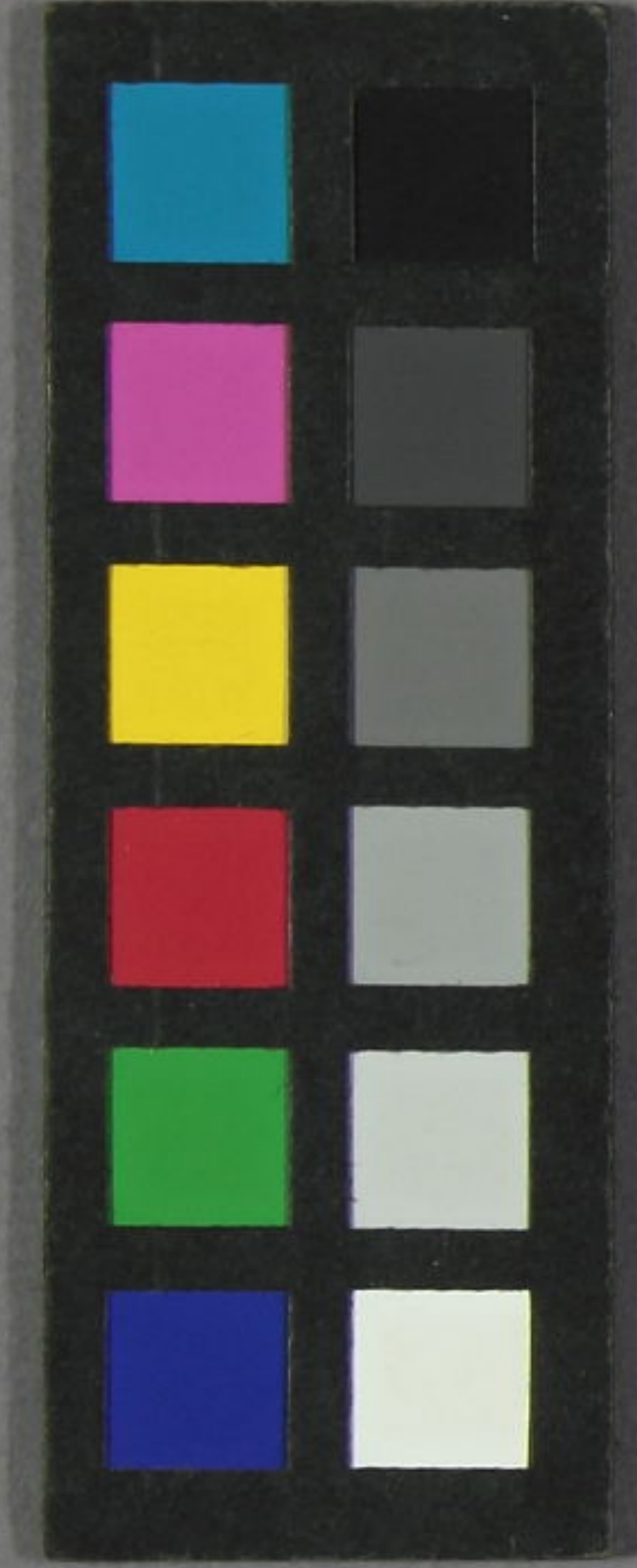
同
隼太
幸辰

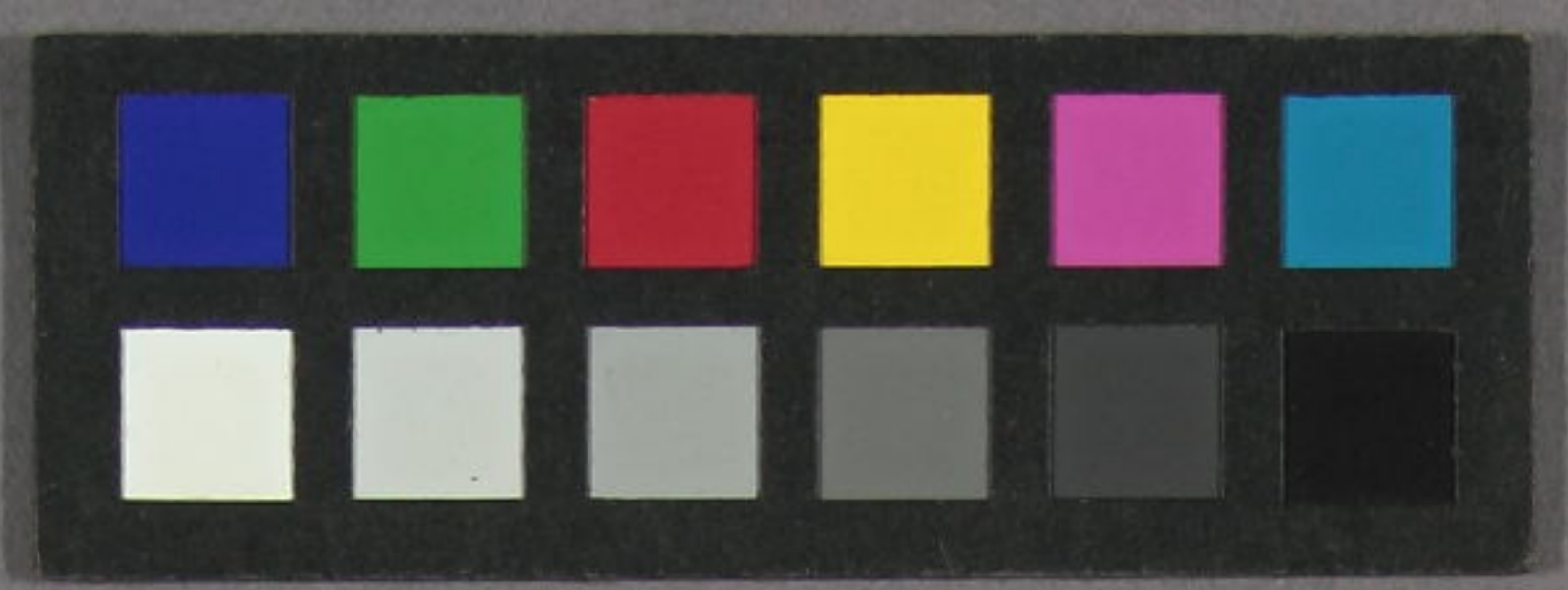
松岡清助
辰方

本間與一

二七七
初冬中澣







73
3645
146

山川陰陽之卷



本間立庫

73
3645
146

一夫雉子ハ山鳥の棟領たり首ニ紅冠ベニカウの
玄位を頂キ身ニ五色の文彩を備エ尾ハ



73
3645
146

子三 燕 龜 人物

卷之三

天... 子... 龜... 燕... 龜... 人物...
天... 子... 龜... 燕... 龜... 人物...
天... 子... 龜... 燕... 龜... 人物...